

平成 3 0 年度再評価対象事業 (社会経済情勢の急激な変化等により見直しの必要が生じた事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業線)
	再評価時点	道路整備交付金事業 主要地方道 武雄福富線 事業主体：県 事業地：杵島郡 白石町福富	本路線が存在する地区は杵島郡白石町の旧福富町に位置し、白石町役場福富支所及び福富中学校を始めとした公共施設や保育園等が集まっており、歩行者・自転車交通量が多い。 また、当該区間は有明海沿岸道路(佐賀福富道路)の末端ICとなる福富ICへのアクセス道路であり、大幅な交通量の増加が見込まれる。	全体事業費：17.8億円 工期：H26～H32 事業内容 延長 L=1,200m 幅員 W=6.5(14.5)m 道路改良工 L=1,200m 地盤改良工 L=1,200m 函渠工 N=5基 舗装工 L=1,200m 測定 一式 用地補償 一式	H27末進捗率：約12.0% (事業費ベース) (年平均進捗率6%) 用地補償進捗率：10%	現況交通量：2,254台/日 計画交通量：16,700台/日 交通管理者との交差点協議により、福富三差路交差点が「交通の安全と円滑」のため廃止され、当該事業区間の交通量の増加が見込まれることで事業の計画内容に変更が生じた。	B/C=4.76	(コスト削減) 効率的な軟弱地盤対策工法を選定する。 工事で発生する残土を盛土等に流用する。 (代替案の検討) 特になし	社会情勢の急激な変化のため再評価 (事業進捗を図るための確実な予算確保を目指し、交付金から新たに創設された個別補助に移行するため。)	継続 (理由) 当該箇所の事業の必要性に変化がなく、交通の円滑化と交通安全を図るため、事業を継続したい。
	現時点	道路改進黨業 主要地方道 武雄福富線 事業主体：県 事業地：杵島郡 白石町福富	現況は、車道幅員が狭小で歩道も片側しかなく、朝夕の通勤時間帯は歩行者、自転車と車両が輻輳する状況となっており、早急な対応が求められている。このため、現道拡幅及び自転車歩行者道を整備し、車両交通の円滑化及び歩行者・自転車の安全性の向上を図るものである。	全体事業費：24.0億円 工期：H26～H32 事業内容 延長 L=1,200m 幅員 W=6.5(14.5)m 道路改良工 L=1,200m 地盤改良工 L=1,200m 函渠工 N=5基 舗装工 L=1,200m 測定 一式 用地補償 一式	H29末進捗率：約59.3% (事業費ベース) (年平均進捗率14%) 用地補償進捗率：94%	事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。 B/C=4.72	同上	社会情勢の急激な変化のため再評価 (交通量の変化により事業の計画内容に変更が生じたため。)	継続 (理由) 当該箇所の事業の必要性に変化がなく、交通の円滑化と交通安全を図るため、事業を継続したい。	
	理由等	個別補助制度への移行			交通量の変化により事業の計画内容に変更が生じたため。					

